

Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ;

創立： 1985 年 3 月 27 日; RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665);

事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F;

電話： 059-383-7077; FAX： 059-383-8501;

E-Mail: info@rotary-suzuka-west.org; <http://www.rotary-suzuka-west.org/>

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール; 例会日： 火曜日; 例会食事： 12: 00; 例会： 12: 30-13: 30;



イマジン
ロータリー

2022 年 7 月 12 日(火)第 1687 回例会

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール

開始： 12: 30 終了： 13: 30

例会進行： 眞弓純一 S A A

点鐘： 会長 藤野恵子

ソング： 我らの生業

ソングリーダー： 服部高宣会員



会長挨拶

藤野恵子 会長

皆さん こんにちは。本日は、沖ガバナー補佐の第 1 回目の訪問です。後ほど卓話よろしくお願ひします。

さて、先週の例会時に岸本会員より宿題をいただきました。今日はそれについて少しお話をさせていただきます。



イマジン
ロータリー

このロゴは、オーストラリア先住民の現代アート、デザイン、コミュニケーションを専門とするアーティストでグラ

フィックデザイナーのリキ・サラム氏によってデザインされました。この方は、メルボルンで開催される 2023 年ロータリー国際大会のロゴも手掛けているそうです。

ロゴに込められた意味：

各所に深い意味が込められています。例えば先住民の文化で「円」は、互いにつながっていることを意味しており、7 つの点は「人」をあらわすと同時に、ロータリーの 7 つの重点分野を表しています。

7 つの重点分野：環境、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字向上、地域社会の経済発展
大きな丸と点を一緒にすると、航路を示す星、つまり私たちの道しるべになります。

その下の太い線は、いわゆる「掘り出し棒」で、力仕事をするときに使うものです。

行動を起こす人達であるロータリアンにとって、物事を成し遂げるための道具を表しています。

色について：緑、紫、白の 3 色は、必ずしもアボリジニの文化とは関係がありません。ジェニファー・ジョーンズ会長は、公式行事で服装を整えるとき、テーマジャケットではなく、これらの色（一つでも、三つすべてでも可能)を使うよう 2022-2023 年度ガバナーに要請しています。「多様性、公平さ、インクルージョンを強

調していくにあたり、私たち一人ひとりが着るもので自分を表現しながら、つながりを持てるようにしたかった」とジョーンズ氏は説明します。

色の解釈は何通りかあります。例えば、紫は「ポリオ根絶」、緑は新たに加わった重点分野の「環境」、そして白は私たちの中核的使命である「平和」を表しています。また、この3色を合わせると女性参政権運動「サフラジェット」の色になります。これは、ジョーンズ会長が初の女性RI会長となることから、さりげなくその歴史に触れているのです。

すっきりとしたデザイン、色に様々な意味、思いが含まれているということがわかりました。それらを感じながら一年間「イマジン ローターリー」を味わいながら、活動をしていきましょう。



幹事報告 江藤隆仁 幹事

1. 鈴鹿・亀山グループ各ロータリークラブ例会変更のお知らせ
鈴鹿ベイRC：7月28日(木)特別休会
2. 四日市・四日市北・四日市東・四日市南各ロータリークラブは、7月より通常例会へのビジター受付を再開しております。
3. 2021-22年度理事・役員会決議報告（11：

30～ 於 事務局)

- * 第38期（2021-22年度）収支決算について・・・承認
- * 会員候補者推薦について・・・田中洋二氏を承認
- * その他・・・藤田充会員の退会について・・・承認

4. 新会員推薦通知

被推薦者名：田中洋二氏（75歳）

自宅住所：四日市市山田町

職業分類：廃棄物処理

推薦者：加藤 稔会員

- * 異議がある方は、7日以内に書面でもって理事会に通告してください。

5. 受贈誌：2022-23年度計画書：四日市北

RC、亀山RC



出席報告 服部高宣 出席委員長

正会員 29 名中 14 名出席。出席率：70.00%



ニコニコボックス報告

岸本春雄 親睦・家族委員

敬称略

※多額

※**沖 俊成**：皆様、これから一年、AGとして頑張ります。よろしくお願いします。

藤野恵子：沖AG、本日の卓話よろしくお願いします。

江藤隆仁：クラブ協議会、宜しくお願いします。

岩崎 透：沖アシスタントガバナー、よろしくお願いします。

柴田友美：沖AG、本日はよろしくお願いします。

勇 理維子：沖AG、今日は宜しくお願いします。

岸本春雄：沖AG、卓話楽しみです。



本日のプログラム

「ガバナー補佐の卓話」

鈴鹿・亀山グループガバナー補佐

沖 俊成

第 1 回 訪 問

今季、鈴鹿、亀山グループの AG を仰せつかりました。皆様には、宜しくご指導のほどお願い致します。

入会させて頂き 27 年たちましたが、入会 2 年目に、鈴鹿高校のインターアクトの皆様と、ネパールのエベレストを望む 山奥のダンダバスという村へ、植樹をするプロジェクトがあり 先輩から、社会奉仕として、また、青少年奉仕として、職業柄 参加するよう勧められ、知人友人はじめ グループ各クラブの皆様から暖かいご支援をいただき事業を無事終えることができました。

ネパールの現地では、燃料不足で山の木を切ってしまう、そのために水害等が発生し、大きな被害が出ているとのことでした。テント生活ですから、大きなリュックを背負い、雨に降られ、ヒルと戦い、時々ま出会う村人に ナマスとあいさつを交わしながら険しい山道を登りました。今にして思えば、生涯に素晴らしい経験をさせて頂いたと 感謝でいっぱいです。□

ロータリー歴 27 年の間には、国際大会はじめ 地区大会、IM, 親睦家族旅行等、事業を通じ ロータリーの楽しさを教えて頂きました。ロータリークラブは 多くの出会いの中で それを人生の道場として 成長させてもらえる素晴らしい組織だと思っています。そして今回 責任重大なる AG を仰せつかり 気を引き締めているところでございます。

さて、AG は、ガバナーを補佐し、RI とグループのパイプ役を担うものです。

今期 RI 会長は、カナダのジェニファー・ジョーンズさんですが、1905 年ロータリークラブ始まって以来 117 年目にして、初めての女性会長です。そして、会長テーマは、「イマジン ロータリー」で 素晴らしいロータリーの世界を想像し、それに向かって行動し、ロータリアンのパートナーシップを築こうと呼び掛けています。そして、ロータリーに、D E I、多様性、公平さ、そして誰もが排除されないインクルージョンを取り入れることを 強調して呼びかけています。これは、創始者の ポールハリスのメッセージからも 伺えますし、ロータリークラブに脈々と流れているロータリーの心ではないでしょうか？

さて、私たち 2630 地区 高橋伸治ガバナーは、これを受け、その方針を「ロータリーの心と原点を大切に、描こう明るい未来を」とされました。ロータリーの心とは、友愛と信頼、そして二つのモットー「超我の奉仕」・「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」であり、原点とは、人づくり・とおっしゃって見えます。そして、ロータリーの「中核的価値観」の、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップを基盤

に 理念と実践のバランスをとって活動して行きましょう。そして、世界平和や、人々の幸福を願わない人はいないはずなのに、戦争や、対立が生まれる昨今、私達ロータリアンは 奉仕哲学をさらに求め、心豊かで平和な未来を想像し 信じる道を歩んでゆこうと おっしゃって見えます。このガバナー方針に沿って私たちはロータリー活動を進めたいと思います。

さて、10 月 22~23 日開催の地区大会の企画会議が、7 月 2 日名古屋であり、この時 高橋ガバナーから、ポリオ根絶の街頭募金、女性会員の入会 8 パーセント達成、マイロータリー 50 パーセント加入、ロータリーカードの普及、チャリティゴルフコンペの実施、オープン例会を是非とも開催して下さいと要請されています。それと、ロータリーのポリオ撲滅を目指す活動を広報するため、岐阜バスと、三重交通に、ラッピングバスを予定しているそうでそのうち皆様のお目にかかると思います。

次に、9 月 24 日に予定させて頂きました、鈴鹿・亀山グループへの ガバナー公式訪問と、IM につきましてです。

コロナによって、不安定な状況ですが、私達グループの重要な行事であり、実行委員会を立ち上げ準備させて頂いていますので、皆様には全員登録でご参加いただきますようお願い致します。実行委員長に衣斐信行会員、副委員長に服部高宣会員を置き計画を進めております。詳細は、後日お送りさせて頂きますが、今回は、2024 年の 10000 円札に登場する 論語と算盤で有名な 近代日本経済の父と言われた 渋沢栄一について、四日市市の四郷郷土資料館 館長の古川芳彦様に講演をお願いしております。

アメリカの、エンジェルスで大活躍の、大谷選手も愛読しているという 論語と算盤の渋沢栄一をなぜテーマにしたかと申しますと 論語と算盤に記されているように、幕末から波乱の時代に 論語を通して、理念と実践の人生を求めた 渋沢栄一の生き方と、私たちロータリアンの求める方向に、共通点があるのではないかと考えたからであります。 渋沢栄一は、埼玉県深谷市で、1840 年に生まれました 深谷市にある渋沢栄一記念館では、彼の素晴らしい足跡や、関係者の生家、記念の写真等が展示され、周辺を論語の里として、多くの見学者を迎えています。

私達も数名で6月22日に 深谷市にある記念館を見学させて頂き彼の生き様を知ることができました。記念館では、渋沢栄一の等身大のアンドロイドが、講演していますが、高崎線の電車の遅れで、チャンスを逃しました。

ともあれ、頑張って準備をしますので 皆様、宜しくお願い致します。

さて この度のコロナ禍でのロータリーは、その活動が制約され 例会はじめ、各種行事の中止などが、ロータリアンとしての意識にも大きく影響しているように感じました。鈴鹿西クラブでも、7月から、通常例会に戻りますが、今こそ、これまでの空白を埋めるべく 意識して取り組む時期でないでしょうか。とくに、高齢化で退会が増えてきた現状を見ると、増強には、力を入れて取り組まねばと思います。

鈴鹿ロータリークラブさんから、出向いただいている 中村薫地区増強委員長様からは 一会員が、一名入会の声掛けをとご指導いただいています。私たちは、ロータリアンとして、ふ

さわしい人を見つけて 是非とも入会につながるようお願い致します。

今話題の 衛星クラブも シティクラブ様でご準備頂だいていますが、これも素晴らしいと思います。

先日西ロータリークラブゴルフ部会の 最終取切戦が青森でありました。その時お誘いした人に、みんなで入会を勧め 了解して頂きました。

その方曰く、難しいことはわからないが、とにかく入会して楽しくやりたいとのことでした。最初からロータリーのすべてを理解し、入会して頂くのではなく、後からその人のペースで理解してもらえばいいのではないかと思います。百十余年も前から培ってきたロータリー哲学は、ロータリーの宝と思いますが、入会しようとする人に、いきなりロータリーの 理念、規約、綱領、モットー、ロータリー文化、組織 用語等を説明しても、混乱のもとではないかと思います。新しく入会の人には、その時のテーマや、ロータリーの基本を紹介させてもらえばよいと思います。あとは、先輩の皆様にお願ひしロータリーについて、指導いただくのが良いかと思います。

さて、AG に予定されますと、それに向かって前年から、セミナーがあります。 また、先日、「ロータリーの心と原点」という 素晴らしい解説書をガバナーから頂きました。これらを通して、少しなりとも R I や日本のロータリーについて、理解するよう努力をしているところです。

近年、よく話題になることは、R I と、日本のロータリークラブの、意識がズレているのでは

ないか？日本の職業奉仕や、クラブ奉仕の理念がRIで重要視されず どちらかというと発展途上国への、社会奉仕に重きを置いている傾向がある、慈善団体的な力が働いていると言われ、会員も途上国の人が増え先進国は減っているようです。規定審議会でも、会員資格、職業分類、例会出席等、少しずつその考えが、変化しているようです。RIの方向が、単なる人道奉仕や、寄付に偏りがちとなり、私たちはこれに対し、成熟した日本のロータリー文化の素晴らしさを、不易として、守って行くことも大切ではないでしょうか？

私としまして、今回このような大役をいただき皆様に ご指導いただきながら少しなりともお役に立てますよう努力いたします。どうか1年間 宜しくお願い致します。本日は、ありがとうございました。



会報発行担当：川戸広樹